

三田市議会議員

日本共産党

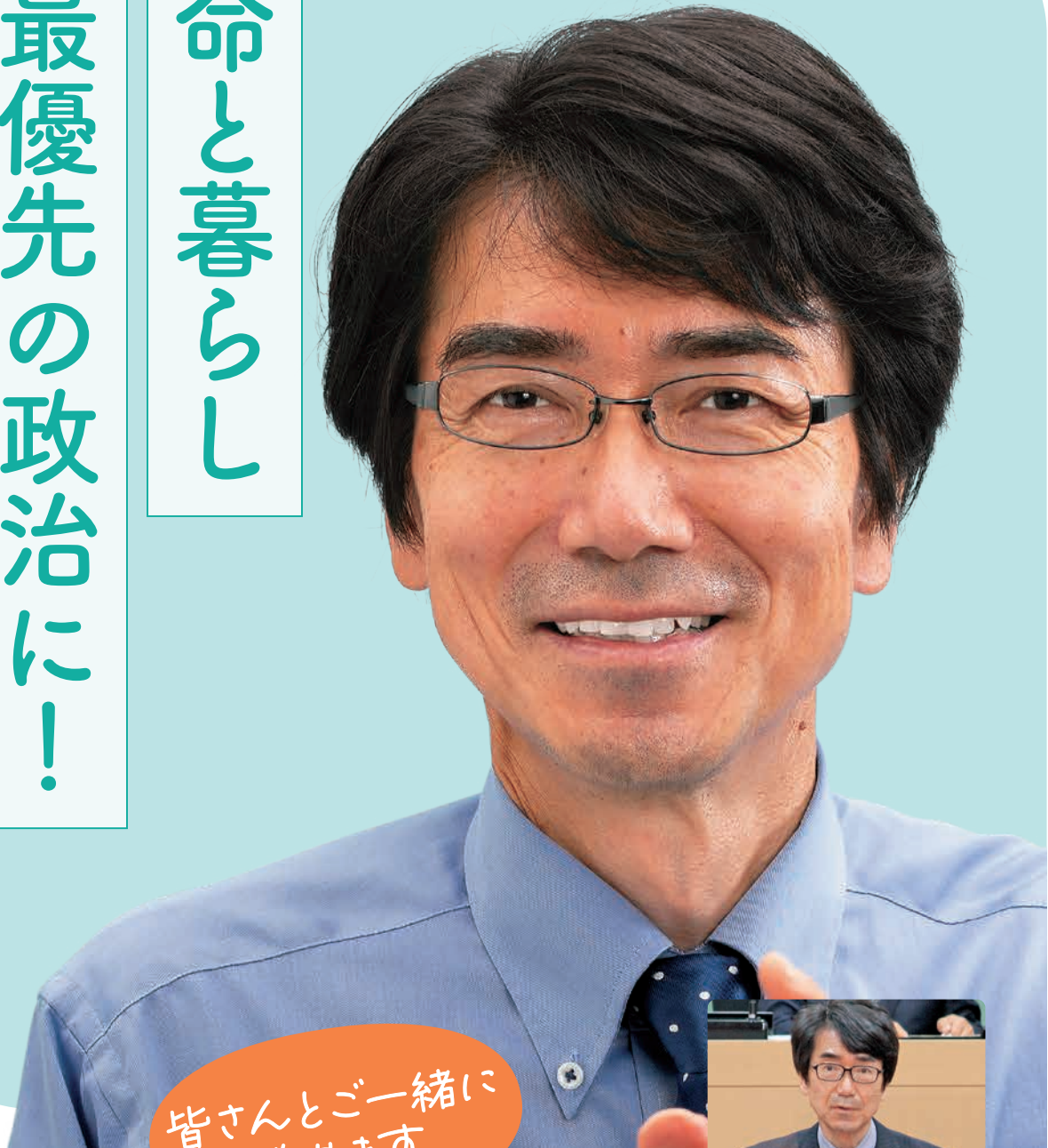
木村まさと

最優先の政治に！

命と暮らし

プロフィール

自宅：三田市天神3-8-12 TEL:090-4781-6185
1964年豊岡市但東町生まれ。県立出石高校卒。1983年運輸省入省。大阪経済大学(夜間)、大阪教育大学(夜間)卒業。2020年3月まで国土交通省近畿地方整備局に勤務。2020年10月市議初当選。現在市議1期目。
趣味・特技：テニス、水泳、サイクリング、木工、里山保全、家庭菜園、狩猟、養蜂



皆さんと一緒に進めます



本会議にて一般質問

市民が主人公のまちづくりを



<志手原>大雨後の土砂崩れ。市に復旧を要請して改修



<南が丘>危険なブロック塀の対応を市に要請して改善



<天神>歩行者通路に草が繁茂。市に草刈りを要請して改善



通学時の「子ども見守り隊」活動

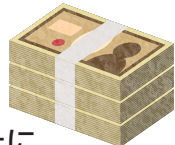


能登半島地震救援募金の訴え

自民党ウラ金疑惑 真相徹底究明を！



あなたのまちから 自民党政治変えよう



- ▶裏金事件は辞任で幕引きさせず国会に証人喚問を
- ▶企業・団体からの献金も政治資金パーティ券の購入も禁止に

大軍拡・大增税 NOの声をあげよう



東アジアの平和構築への提言

- ▶軍事ではなく対話による平和構築を
- ▶ASEANと協力して東アジア規模での平和の地域協力の枠組みを

くらしに希望を 日本共産党の経済再生プラン



- ▶政治の責任で「賃上げ」「待遇改善」を
- ▶消費税減税、社会保障充実、教育費軽減



#学費ゼロプロジェクト in兵庫

高すぎる日本の高等教育の学費 ただちに半額そしてゼロに



実施中 Web署名ご協力ください！

やっぱり

市内に市民病院が必要



統合ありき

- 市内唯一の出産できる公立病院がなくなる!
- 多くの三田市民にとって病院が遠方になる!
- 病床削減(2病院の568床→400~450床)により、必要な時に必要な医療が受けられなくなる可能性が高くなる!
- 指定管理者制度の導入で市民や議会の声が届きにくくなる

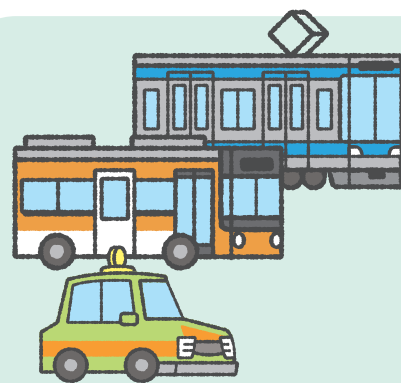
市民の命と健康を守るため直営で存続と充実を求めます。

子育て支援の充実を

- ▶子どもの医療費18歳まで完全無料に
- ▶学校給食を無償に

公共交通の充実を

- ▶買い物や病院など便利に外出できる交通支援を求めます



- ▶地場産食材の拡充・有機食材を使った給食の実現を
- ▶学校統廃合ありきでなく小規模で行き届いた教育を
- ▶子どもの均等割り廃止で国保税の負担軽減を

- ▶水道事業や学校給食は直営で
- ▶基幹産業の農業を持続可能に
- ▶中小事業者への支援強化



当初より「統合ありき」で議論が進められ、市民意見交換会やパブリックコメントなどでも多くの市民が反対や疑問の声をあげていたにも関わらず、市は強引に進めてきました。そのため、賛否に関わらず「統合に賛成か反対か、住民の意思を確認してほしい」「市の進め方が納得できない」と住民投票を求める直接請求が行われました。

だから
決定権を住民の
判断に委ねるべき!

「病院のあり方は市民で決めたい!」

市民から6948筆の署名



その声を聞いたのは共産党だけ!

「住民投票条例案」に対する議員の態度

日本共産党 三田市議団			盟政会				新政みらい				公明党		市民の会		無党派			
長尾	水元	木村	福田	森本	幸田	小杉	今北	厚地	北本	佐貫	中田	大西	福田	檜田	美藤	肥後	林	井上
明憲	サユミ	雅人	秀章	政直	安司	崇浩	義明	弘行	節代	尚子	哲	雅子	佳則	充	和広	淳三	政徳	昭吾
○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×

※「—」は退席。松岡議員は議長のため不記載

実現できました

- 👍 妊婦健診費用助成 **8万5千円→9万円→10万6千円**
- 👍 産後ケアの拡充
利用料(宿泊型等)の減額、日帰り型も実現
- 👍 産婦健康診査費用助成に5000円
- 👍 児童クラブ指導員へのタブレット導入
- 👍 児童クラブ長期休暇期間の受け入れ時間繰り上げ
- 👍 病後児保育の直営での実施
- 👍 テニスコート毎年3面ずつを全面貼り換え
- 👍 コロナ禍の小規模事業者への応援助成金
- 👍 避難所の充実
パーティション、500人分の簡易ベッド
- 👍 失語症者への意思疎通支援者派遣
- 👍 飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助

田村市長に対する不信任決議

日本共産党が提案し、他党派と提出。

公約の撤回やこの間の発言にも問題があり、市長としての資質に欠けるため3月議会で不信任決議案を提案。賛成10、反対12で残念ながら否決されましたが、市長の政治姿勢を問い続けます。